

平成二十六年十月十六日提出
質問第三〇号

GPIFにおける年金積立金の運用リスク等に関する質問主意書

提出者 長妻 昭

GPIFにおける年金積立金の運用リスク等に関する質問主意書

一 GPIFにおける年金積立金の運用については、「国内債券並みのリスクの維持」という方針は現在も維持されているのか。

二 来年の四月からは、「国内債券並みのリスクの維持」という方針は変更となるのか、ならないのか。

三 現在と、来年の四月以降で、リスクの考え方は変わるのか。変わるのであれば、どう変わるのか、お示し願いたい。また、今後、「国内債券並みのリスクの維持」との考え方を変えることがあるのか。変える場合は、国民的議論が必要と考えるが、いかがか。

四 GPIFの利回り目標は、名目賃金上昇率プラス一・七％ということか。

五 GPIFについては、運用利回り目標とリスクについて定められ、見直しにおいては、緻密な議論が必要にもかかわらず、「成長の投資に、貢献する」「いわゆるGPIFの動きが六月以降出てきます」などの総理や閣僚の発言がある。これらの発言について不適切だとお考えになるか。

六 年金積立金に関する総理大臣の発言についてお尋ねする。

1 歴代総理の中で、海外で年金積立金運用について言及した総理大臣は何人か。

2 安倍総理が今年一月二十二日のダボス会議で、「一兆二〇〇〇億ドルの運用資産をもつ GPIF については、そのポートフォリオの見直しを始め、フォワード・ルッキングな改革を行います。成長への投資に貢献することとなるでしょう」と発言している。この発言にあるポートフォリオの見直しとは、どのような根拠に基づいているのか。

3 仮に緻密な分析や議論なしに、ポートフォリオを見直す、という発言をしたとすれば、誤解を招くのではないか。

4 また、この発言にある、「成長への投資」とは、どのような分野への投資のことか。

5 また、「フォワード・ルッキングな改革」とは現在の運用方法とどう異なるのか。

七 日本の株式市場が、株価を支えるために政府から年金積立金が投じられる、と見られるとすれば、市場が公正でないと見なされ、長期的にみて良質の投資家が逃避するリスクが発生する。

1 すでに一部投資家等から、日本政府は、GPIFの年金積立金を株価維持のために使うのではないかと見られてしまった、との自覚はあるか。

2 GPIFを巡る閣僚の言動で、株価が上がったと推定されるケースはあるか。

質問番号ごとに、具体的に回答をいただきたい。

右質問する。